

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年5月31日

提出区分	実績	整理番号	7	課題区分	C
横断的な課題	伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり				
地域重点政策	伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり				

南信州地域振興局

実施機関	南信州地域振興局	担当課	所属	環境課
事業名	プラスチックスマート推進記念事業		電話	0265-53-0434
			E-mail	minamichi-kankvo@pref.nagano.lg.jp

事業の概要	目的 (目指す姿)	全世界で対応が求められている海洋プラスチックごみの現状や、大気中の二酸化炭素が増えることで進む海洋酸性化問題、河川上流域のプラスチックごみも海洋汚染に関わっていること等、更なる課題にどう向き合っていくべきか、広く住民、事業者を理解を深めていただくことで、プラスチックスマートの意義や重要性をあらためて認識し、今後の取組につなげていく。
	現状と課題	南信州プラスチックスマート推進協議会の前身である南信州レジ袋削減推進協議会が管内一斉にレジ袋削減の取組を開始して15年となるが、15年間の取組により、当地域においてはレジ袋削減や買い物時のマイバッグ持参の意識が定着した感がある一方で、プラごみ削減の取組であるプラスチックスマートに関しては、意義や重要性について広く住民、事業者への理解が不足している感があることから、プラスチックスマートについて住民や関係者の関心を高める機会が必要である。
内容 (変更後の内容)	概要	南信州プラスチックスマート推進協議会15周年記念事業 プラスチックごみ削減セミナーin南信州の開催 (1) 日程 令和6年2月3日(土) 13:10~16:30 (2) 会場 県飯田合同庁舎 講堂 (3) 主催 南信州地域振興局 (4) 共催 南信州プラスチックスマート推進協議会 (5) 後援 南信州新聞社 (6) 参集範囲 県民、南信州プラスチックスマート推進協議会メンバーなど 100名程度 (7) 内容 ア 基調講演(約1時間) (講師)全国川ごみネットワーク事務局 伊藤 浩子氏 (演題)河川のプラスチックごみの現状と私ができること イ CHANGE FOR THE BLUEカードゲーム体験(2時間) (講師)CHANGE FOR THE BLUEカードゲーム公認ファシリテーター 佐藤 利春氏 ウ 会場展示 ・マイクロプラスチック体験 ・クイズパネル展示コーナー ・環境学習ツアーの写真展示、啓発DVD放映 等
	事業期間	令和5年12月 ~ 令和6年2月

事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考
		周知	チラシ作成、郵送代	70,740
	セミナー	講演テーブル起こし代	13,068	講演テーブル起こし代
	啓発	懸垂幕制作	82,500	0.85m x 9m
	合計		166,308	

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況
		参加人数(第2部のカードゲーム体験会はMAX48名のため先着)	80名	37名
	アンケート回答者のうちプラスチックスマートへの理解が深まったと回答した人の割合	70%	100%	● 一部達成
				○ 未達成

事業実績・成果	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演では、世界中で問題となっているマイクロプラスチックなどの海洋プラごみの現状や河川上流域のプラスチックごみも海洋汚染に関わっていること、更なる課題にどう向き合っていくべきか等プラスチックスマートの意義や重要性をあらためて認識し理解を深めることができた。 ・カードゲーム体験では、参加者一人ひとりがカードゲームを通して、海洋ごみ等について自分事として考えるきっかけとなった。 ・会場内に、砂の中からマイクロプラスチックを選別する体験コーナー、プラスチックごみなどによる海洋汚染の実態を示したパネル展示や、クイズパネル展示、環境学習ツアーの写真展示、啓発DVDの放映を行った。 ・来場者数は37名であった。
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・講演、カードゲーム体験、来場者アンケート結果から、海洋プラごみは誰もが関わりうる問題であることや、無駄な買い物でごみを家庭に持ち込まないなど、一人ひとりができることを行っていく重要性について啓発することができたと考えられ、目指していた内容の事業とすることはできた。他方平日開催による関係者の出席(動員)よりも、多くの方の来場を期待し土曜日開催としたが、来場者は半分以下と目標数に達しなかった。よほど関心のある方しか来場してもらえず周知の難しさを感じた。

今後の方向性	プラスチックスマートの取組は、現在推進中のしあわせ信州創造プラン3.0「南信州地域計画」の地域重点政策「伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり」に基づくものであり、2050ゼロカーボン社会の実現に向けても関連性のあるものであることから、今後長野県が取り組んでいる「信州プラスチックスマート運動」とも連動させながら、南信州プラスチックスマート推進協議会がレジ袋の削減運動を開始した平成21年2月に合わせ、毎年2月を「南信州プラスチックスマート運動推進月間」と位置付け、一斉啓発活動を行い、プラスチックスマートについて住民や関係者の関心を高めるよう周知していく。
--------	--